

山形市 山寺小中の学習発表会 全校生が 演劇や太鼓、伝承への決意込めて披露



2026/09/12 朝刊 山形

山形市山寺小中（武田裕子校長）の学習発表会が11日、同校で開かれ、全校児童生徒37人が伝統の演劇「山寺物語」と「磐司（ばんじ）太鼓」を披露し、保護者や地域のお年寄りたちを楽しませた。

山寺物語は、慈覚大師円仁が磐司磐三郎（ばんざぶろう）に狩りをやめるよう諭し、人間と動物が仲良く暮らすようになったーという山寺の開山伝承を基にした内容。小学1、2年生が動物役、3～6年生が円仁や磐司などを伸び伸びと演じ、円仁への感謝や平和な暮らしへの喜びを表す、しし踊りと石切り唄踊りも披露した。中学生は磐司太鼓を演奏。狩りや、磐司と円仁の出会いなど4場面を、音の強弱や息の合った動きで表現した。

本年度は児童数の減少により一人2役に挑戦した子どももいた。山寺物語も磐司太鼓も40年以上の歴史があり、一人一人が伝承への決意を胸に抱いてステージに立った。近くの介護老人保健施設サニーヒル山寺の利用者も鑑賞し、大きな拍手を送った。

同校は伝統芸能の継承に取り組んでいるとして、2025年度に「やまがた未来賞」（日本教育公務員弘済会山形支部主催）を受賞した。

（柴崎愛）

==== 写真説明 ====

山寺小中に伝わる演劇「山寺物語」の中で石切り唄踊りを披露する児童たち＝山形市・同校